

JAPANESE SOCIETY FOR INTERNATIONAL NURSING

(JSIN)

日本国際看護学会 第1回学術集会 抄録集

国際看護が目指すもの～何が変わるのか～

会 長 : 森 淑江 (群馬大学大学院保健学研究科)

日 時 : 2017年11月11日(土) 10:00~17:30

会 場 : 独立行政法人国際協力機構 JICA 横浜

(神奈川県横浜市中区新港2-3-1)

総 会 : 第1会場 (13:00~13:30)



日本国際看護学会第1回学術集会事務局
〒371-8514 群馬県前橋市昭和町3-39-22
群馬大学大学院保健学研究科内
TEL: 027-220-8924 FAX: 027-220-8924
E-mail : kokusaikango2017@gmail.com

日本国際看護学会第1回学術集会の開催にあたって

日本国際看護学会第1回学術集会会長

森 淑江（群馬大学大学院保健学研究科）

平素より「日本国際看護学会」の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

本学会は2017年4月1日に発足したばかりですが、それまでに1996年から21年間に国際看護研究会として活動してまいりました。研究会から学会に移行した大きな理由は、研究活動を強化することで国際看護の更なる発展を目指したいという会員の多数の声を反映したためであり、国際看護研究会から日本国際看護学会へと名称を変更するだけでなく、5委員会を設けて教育・研修や研究活動及び学会誌の発行を行うなど機能を強化しました。

さて、日本国際看護学会として第1回の学術集会は「国際看護が目指すもの～何が変わるのか～」をテーマとし、基調講演もこのテーマに合わせた内容となっております。国際看護は国際看護協力だけでなく、国内での外国人医療や国外での在外邦人医療、また日本国内で増えつつある外国人看護師との協働など様々な機会に応用される看護です。国際看護の考え方を適用することによって、あるいは実際の国際的な看護活動によってどのような変化がもたらされるのかについて皆様と一緒に考えていきたいと存じます。

シンポジウムでは3人のシンポジストによるそれぞれのご経験から国際看護の質向上に関するご発表をいただき「国際看護の質向上のために何ができるか？」をテーマに国際看護の発展について会場の皆様とともに議論します。

また研究委員会による会員を対象として実施した「研究に関する調査結果の報告」により今後の日本国際看護学会の研究に関する活動の方向性を考えて行きます。

今回28題にのぼる一般演題では、国際看護の教育、外国人医療や在外邦人医療、各国の健康問題や保健医療看護に関わる制度、国際看護協力の活動記録と多岐にわたる発表が行われます。活発な討議により有意義な時間を皆様と共に過ごし、国際看護の発展につながる学術集会にしたいと考えております。

末筆とはなりましたが、学会の準備や運営にご協力いただきました、準備委員・実行委員・査読委員の先生方、シンポジストや座長の先生方、ボランティアの学生さん、日本国際看護学会理事・評議員・会員の皆様方、本学術集会の開催にご協力・ご後援いただきましたJICA横浜関係者の皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

2017年11月11日

<プログラム>

【第1会場 体育館：地階】

10:00～10:05 開会のあいさつ

10:05～10:50 基調講演

座長：山田 智恵里（福島県立医科大学）

国際看護が目指すもの～何が変わるのか～

第1回学術集会会長 森 淑江（群馬大学）

10:55～12:00 一般演題 第1群「外国人医療Ⅰ」

座長：河原 宣子（京都橘大学）

1. 地域に住む在留外国人の健康に影響する諸要因
大植 崇（兵庫大学）
2. 在留外国人の多文化共生と健康増進を目指した「国際健康教室」の効果
大植 崇（兵庫大学）
3. 在留外国人の多文化共生と健康増進を目指した「国際健康教室」の効果（第2報）
—参加型学習を実施した看護大学生への教育効果—
大植 由佳（兵庫大学）
4. オーストラリア ヴィクトリア州の医療機関における言語サポート調査
二見 茜（国立国際医療研究センター）
5. 倫理綱領における外国人患者のアドボカシー
服部 溪子（日本医療科学大学）

12:00～13:00 昼食・休憩

12:05～12:45 評議員会（評議員のみ@会議室3）

13:00～13:30 2017年度 日本国際看護学会総会（会員参加）

13:35～14:40

一般演題 第3群「在外邦人医療／看護教育」

座長：辻村 弘美（群馬大学）

6. アジアにおける在外邦人の健康管理、危機管理の問題
兼子 裕美（亀田医療大学）
7. 産科病棟勤務経験のある元看護師によるハワイでの出産体験および出産入院に伴う感情
小野 智佐子（神奈川工科大学）
8. 看護大学生における国際看護教育に関する調査研究
長井 瑠菜（昭和大学病院）
9. ベトナム人看護学生への日本の看護教育支援
下島 三千代（東名厚木病院）
10. 日本人看護学生がフィリピン看護学研修を通して認識した異文化看護
入山 茂美（名古屋大学）

14:40～15:10

研究委員会報告 山田 智恵里（福島県立医科大学）

15:10～16:40

シンポジウム「国際看護学質向上のために何ができるか？」

座長：大植 崇（兵庫大学）

シンポジスト

伊東 美佐江（川崎医療福祉大学）

国際共同研究活動から、国際看護の質向上を考える

呉 小玉（京都光華女子大学）

外国人看護師と日本人看護師が共同作業の中で生まれるものから、国際看護学の質向上を考える

宮本 圭（国際医療福祉大学成田看護学部）

国際協力活動から、国際看護学の質向上について

16:40 閉会

終了後に第2会場では茶話会を開催します。短い時間ですが、情報交換、ネットワーク作りの場にご活用ください。

【第2会場 会議室1：1階】

10:55～12:00

一般演題 第2群「人材育成」

座長：大野 夏代（札幌市立大学）

11. モロッコにおける病院カイゼン「5S-KAIZEN-TQMによる保健医療サービスの質向上の取り組みについて」－アンケート調査より－
小林 由美子（長野県看護大学）
12. 医療施設における効果的な異文化カリキュラムの検討
～メイヨークリニック（アメリカ）での実践から学ぶ～
齋藤 真希（大阪大学）
13. カンボジアにおける現地看護師の外来看護師育成
加藤 あかね（サンライズジャパンホスピタルプノンペン）
14. デスカンファレンスを通じたカンボジア人看護師への教育
柏 雅子（サンライズジャパンホスピタルプノンペン）
15. National Licensure Examination for Nurses in Nepal as a Strategy for Nursing Education
Kei Miyamoto (International University of Health and Welfare)

12:00～13:00 昼食・休憩

休憩時間中に JICA ボランティア相談コーナーを設けます。気軽にお立ち寄り、ご相談ください。
(12:15～12:45 青年海外協力隊体験談紹介：カンボジア派遣看護師)

13:35～14:27

一般演題 第4群「各国の健康問題」

座長：伊藤 尚子（千葉大学）

16. モンゴルでの健康と被ばく対策住民活動研究 第一報
山田 智恵里（福島県立医科大学）
17. スリランカの農園地域の小・中学校の生徒の健康診査
磯邊 厚子（聖泉大学）
18. マラウイ・ムフジュ地域の人々の健康問題と要因分析
戸田 美幸（聖泉大学）
19. 家庭菜園がフィリピンの貧困家庭の食料保障にもたらす影響
堀口 利辺佳（高石市立母子健康センター）

14:30～15:22

一般演題 第5群「海外の保健・医療・看護」

座長：松永 早苗（宮城大学）

20. バリ島でのシャーマンとの対談と施術の体験

田淵 啓二（広島大学）

21. インドネシア共和国および在日インドネシア人に関する保健医療・看護の問題：
2000年以降の国内文献レビュー

吉原 未佳（甲南女子大学）

22. Assessment of working environment and own capability by care providers in a
hospital at conflict area – A case of pediatric oncology ward in republic of Iraq –
Takako Ito (Chiba University)

23. ベトナムにおける完全看護の実践状況

レーグエン キムガン（藤田保健衛生大学）

15:25～16:30

一般演題 第6群「外国人医療Ⅱ／母子保健」

座長：森 淑江（群馬大学）

24. 結核病棟における在日外国人患者への看護実践

鈴木 咲子（長岡赤十字病院）

25. 日本におけるメディカルツーリズムの現状と課題

木村 友香（国立国際医療研究センター）

26. インドネシア共和国における母子手帳を使用したプライマリ・ヘルス・ケアの
導入と展開

芝山 江美子（神奈川工科大学）

27. ベトナムの国立病院における周産期医療体制の構築に向けた取り組み

相馬 深輝（札幌医科大学）

28. フィリピンにおける青年海外協力隊員の母子保健活動

リトン佳織（群馬大学）

16:40～17:30

茶話会

* 皆様お気軽にご参加ください。

短い時間ですが、情報交換、ネットワーク作りの場にご活用ください。